

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

教育いちかわ



市川市教育振興基本計画

～次のような目標を掲げています～

- 子どもの姿** 自分や他人を大切にし、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる
- 家庭・学校・地域の姿** 自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を実現する
- 市川の教育の姿** 教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を推進する

■発行
市川市教育委員会
〒272-8501
市川市八幡1-1-1
TEL 334-1111

■企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335

全校の校内LANシステムを更新

市川市では、平成24年12月から平成25年2月にかけて市内小・中・特別支援学校全校の校内LANシステムの更新を行いました。

全てのコンピュータやプリンターの入れ替えを行うとともに、学習支援システム(※1)や校務支援システム(※2)の新規導入と、学校図書館管理システム(※3)の更新も行いました。

また、電子黒板機能付きプロジェクターと書画カメラを同時に各学校に配置し、どの教室でもICT機器を活用して授業を行うことができるようになりました。これらの機器を活用すると、例えば、子どもたちのノートや資料を大きくスクリーンやテレビに映し出し、さらにその画面上に書き込みを加えることもできるようになります。教師に

よる教材提示に活用できるだけでなく、子どもたちが発表や話し合いを行う際にも大いに役立ちます。

文部科学省の調査でも、授業にICT機器を活用することによって、児童生徒の学習に対する意欲や関心が高まり、理解が深まり、学力向上につながると報告されており、その効果が期待されます。

今回の更新にあわせて、教育センターでは、教員の研修を進めていますが、各学校でも、学習支援システムやICT機器の効果的な活用方法についての研究が始まっており、授業での活用がこれまで以上に期待されています。

【教育センター】

子どもたちの学習向上を目指して
授業でのICT機器活用を

(※1)学習支援システム

各教科の指導に役立つ映像資料や、子どもの進度に応じて使用させるドリル教材などが収められた教材データベースに、いつでも接続できるようになります。プロジェクターなどのICT機器を併用すると、例えば、図や写真では理解しにくい実験を、アニメーションや動画で提示することもできるようになります。



(※2)校務支援システム

学校内の情報をコンピュータで一括管理するとともに、通知表をはじめとする各種文書を電子化し、事務の効率化を進め、教員が直接子どもと向き合う時間の拡大を図るものです。このシステムは来年度、小・中・特別支援学校7校で検証を進め、平成26年度の全校での本格運用に向けて準備を整えていきます。

(※3)学校図書館管理システム

既存のシステムを更新し、各学校の図書を横断的に検索できるようにします。これにより、学校間での相互貸借がより円滑になり、図書の有効活用がさらに進みます。



感謝の気持ちを忘れずに



2月1日、大野小学校で「ふれあい道徳」の授業が行われました。これは、地域の方々を講師に迎え、人生経験や得意分野についての話をうかがい、児童の心を育む目的で行っているものです。

当日は全体講師として石井啓友PTA会長の開校当初の話に引き続き、大久保市長が「大野小学校の子どもたちに期待すること」と題し、全校児童の前で話されました。

話の中で「わくわくチャレンジ」という大野小学校の学校教育目標に触れ、「みなさんが生活していくことができるのは周りの人の協力のおかげです。何をやるにも感謝の気持ちを忘れず、いろいろなことにチャレンジしていきましょう」とのメッセージが伝えられました。

【教育センター】

教育委員と児童生徒との交流会

大洲中(1/30)

1、2年生の百人一首大会を参観後、生徒との交流会を行いました。交流会では宇田川委員、五十嵐委員、中村委員から生徒会役員たちにエールが送られました。



福栄小(2/5)



5年生社会科の「新聞社の働き」の授業では、以前、新聞社に勤めていた内田委員からアドバイスがありました。

大洲小(2/12)

6年生3学級で、宇田川委員と中村委員から「子どもたちの将来」について講話がありました。



【教育政策課・教育センター】

平成24年12月30日、吉岡博之教育委員が逝去されました。吉岡委員は、平成16年より本市教育委員として専門的な立場から教育委員会の活性化及び事業の改善に寄与されました。また、本市学校医、精神科医として、特別な支援を要する児童生徒の保健指導や教職員の心のケアにあたってこられました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ご存じですか? 「コミュニティサポート」

「コミュニティサポート」とは、子どもを中心に、地域コミュニティの基盤である家庭・学校・地域の三者が連携し、互いの役割や責任を果たしながら、

- ①子どもたちの健全育成
- ②子どもたちを育むコミュニティ(地域社会)づくり
- ③生涯学習社会の創造

という3つのねらいの実現を目指すものです。具体的な取組として、市内55の全小・中学校区に、学校関係者、地域の子どもの関わる団体や有識者(PTA・保護者・子ども会・自治会・民生児童委員・スポーツ推進委員・施設開放団体・学校評議員などの方々)の代表者からなる「コミュニティサポート委員会」を設置し、

- ①学校支援(学校の教育活動の情報など)
- ②地域社会づくり(防災・防犯・交通安全の情報など)
- ③学校外支援(各団体の活動の支援・協力など)

についての情報や意見交換を行います。

このように、コミュニティサポート委員会では、一堂に会して子どもたちに関わる情報・意見交換によって、地域団体の代表や学校職員が顔見知りになり、様々な情報を共有することができます。さらに各委員がコミュニティサポート委員会での内容をそれぞれの団体、学校職員や保護者に伝えることでネットワークが広がります。

家庭・学校・地域の連携を深めながら、地域の子どもの地域で育てていくことは、強い「絆」で結ばれた地域社会の実現を図れると考えます。



学校支援とは...

学校支援とは「学校の教育活動において地域の教育力を生かすため、保護者・地域人材や団体、企業等がボランティアとなり、学習支援(授業に関するサポート)や環境整備の支援(清掃・緑化などのサポート)、安全支援(登下校の安全などのサポート)など、学校をサポートする活動」です。

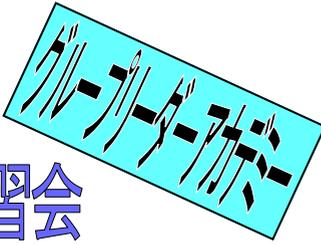
この「学校支援の体制」づくりに向け、平成25年度より、市内小・中・特別支援学校に、地域と学校をつなぐパイプ役となる「学校支援コーディネーター」を配置します。学校を支援する体制の中心的存在として位置づけ、地域住民と学校との連絡調整や学校支援の地域の窓口となって活動していきます。

この体制が定着していくことで、地域と学校とのつながりが一層強くなり、コミュニティサポートの発展とともに、学校を中心とした子どもたちを育む地域社会を実現できると考えます。

コミュニティサポート事業についてのお問い合わせは

地域教育課 Tel334-1659

子どもを育成する方のための レクリエーション実技講習会



グループリーダーアカデミーは「育成者としての資質の向上」「ゲーム、ソング、クラフトなどのレクリエーション技術の習得とスキルアップ」を目的とした、青少年育成課主催の講習会です。

子ども会や青少年相談員などの地域の青少年団体の指導者、学校・幼稚園教諭、保育士といった、広範にわたる子どもの育成者を対象に全5回実施しています。

一 育成者としての視点を学ぶ

今年度は、レクリエーションゲーム、ソング、マジック、クラフトなどの講師にお越しいただきました。豊富な経験を持った先生の講義はわかりやすく、また、子どもの遊びを考える良い機会を与えてくれ、受講者は様々な種類のレクリエーション実技を夢中になって体験していました。

レクリエーションゲームを一つとってみても、育成者はゲームを使ってどのように子どもの心をほぐし、子ども同士で楽しく気持ちよく遊ばせるか、そのためには子



どもの感情のどのような点に気がつけながら、どうゲームを発展的に展開していくのかなど大切な視点がたくさんありました。

先生の講義は実技を教わるという単純なものではなく、育成者としての資質を高める意図を強く感じました。

お仕事帰りで疲れているにもかかわらず、少しでも多くの技術や考えを学ぼうと集中して講習を受けている受講者の姿は、子どもたちを大切に思う気持ちに満ち溢れていました。

学んだ技術が、地域や職場に関わる子どもたちにたくさん活かされることを期待しています。

【青少年育成課】

保護者のための学びの場 〜家庭教育学級〜

家庭教育学級は、新たな時代を担う子どもたちの健やかな成長を願い、家庭における教育力を高めること、親同士が交流を深め、情報交換をしながら心豊かに学び合うことを目的とした保護者のための学びの場です。幼稚園から中学校まで、我が子が学ぶ学校で家庭教育学級に参加できるように開設されていることが、市川市の家庭教育学級の特色です。

今回は「いじめ」をテーマに開催された講座を紹介させていただきます。

「いじめ」から子育てを考えよう

元市内小学校のゆとろぎ相談員で、メンタルケア心理専門士でもある三浦久美子さんが、思春期の子育てについて、下貝塚中学校(11/22)と北方小学校(11/27)、それぞれの学校で話されました。ネガティブな気持ちも吐きだすことができる場所が家庭であり、親も子どもも「喜怒哀楽」の気持ちを素直に表現し合うことが重要です。参加者は、いじめの背景について学んだ後、感情を表現することの大切さをグループワークで体験することができました。

今年度も市内各地で様々な講座が開催されました。

家庭教育学級に関する情報やお問い合わせについては、下記をご覧ください。

市川市教育委員会ホームページ

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/edu09/1111000010.html>

生涯学習振興課 Tel334-1657



地震に強い建物を目指して!

市川市では、耐震診断の結果から、平成20年に学校施設を含む市が所有する建物の耐震補強工事を中心とした「市川市市有建築物耐震化整備プログラム」(以下プログラム)を策定して、建物の耐震化を進めています。

☆学校施設の耐震化進行中!!

学校施設は子どもたちにとって一日の大半を過ごす活動の場であり、災害時には避難所としての役割も担っています。

現在、プログラムで計画している学校施設の耐震化工事は、平成24年度末までにおよそ9割が完了し、平成25年度には学校施設の耐震化が完了する予定です。さらに、今後は文部科学省が示す基準をもとに新たな改修工事を進めていく予定となっています。

☆国分小・第四中の建替え工事が進んでいます!!

プログラムの一環として進めている国分小学校の給食室と第四中学校の体育館の建替え工事が、3月末までに完成する予定です。

国分小学校は、新しくなる給食室から4月より給食を提供する準備が進んでいます。

第四中学校は、新しい体育館で卒業式・入学式を行う予定です。

平成25年度は、両校とも校舎建替え工事が始まり、平成26年度の完成を目指しています。【教育施設課】



建設が進む第四中学校の体育館 (撮影日:平成25年2月21日)

教育実践記録論文表彰

子どもたちの「生きる力」を育む実践の数々

教育実践記録論文の表彰式・発表会が2月5日、生涯学習センターで行われました。今年度は一般部門16編、経験5年以下フレッシュ部門6編の応募がありました。

一般部門の最優秀賞には百合台小学校・川添陽子教諭の「自分の思いを豊かに表現

できる子の育成～小・中連携の学び合いを通して～」、フレッシュ部門の最優秀賞には若宮小学校・笠原佳朗教諭の「団結力と好奇心を育てる校内新聞体制の確立～『印刷綴じ込み型学級新聞づくり』と『新聞スクラップ』の実践より～」が選ばれました。

【教育センター】



学校版環境ISO認定式

学校版環境ISO認定事業は、平成15年度より始まりました。各学校の特色ある環境保全活動や省エネルギー・リサイクル活動への取り組みを推進し、児童生徒及び家庭・地域の環境意識の高揚と、実践力を高めることを目的としています。

平成24年度の認定式が1月24日、生涯学習センターで行われました。毎年、新たに5校がISO実践校として認定されます。今年度は宮田小学校、二俣小学校、大洲小学校、第四中学校、第七中学校に認定証が授与されました。

また、ISO実践校として2年目を迎えた鬼高小学校、稲荷木小学校、第六中学校、大洲中学校、妙典中学校の児童生徒たちによる実践発表も行われました。今年度は初めて中学校ブロックによる取り組みの報告がありました。委員会活動を中心とした主体的な活動や環境学習、資源回収活動などの報告に、出席者から多くの拍手が送られました。

児童生徒の報告を聞いて、わたしたち大人も環境問題について、真剣に取り組んでいかなくてはならないと、改めて思いました。【指導課】



中学校ブロックによる発表の様子

日本教育公務員弘済会 市内3校がそろって受賞!

日本教育公務員弘済会千葉支部が実施した教育実践研究論文で、市内の3校がそろって表彰を受けました。最優秀賞の大洲中学校の研究論文は県代表として、全国での審査に進みます。

【教育センター】

賞	学校名
最優秀賞	市川市立大洲中学校 生徒指導の機能(自己存在感、自己決定、共感的理解)を活かした教育活動の有効性 —大洲中学校研究推進委員会PDCAの挑戦—
優秀賞	市川市立第二中学校 「豊かな心」を育む生徒会活動の実践 —学校間交流としての被災地支援の取り組み—
優良賞	市川市立中山小学校 子どもの独創性・探究心を育てる理科教育 —思考の深まりを大切に授業づくり—

第13回 縄文体験フェスティバル in 堀之内貝塚



和太鼓の演奏(オープニング)



火おこし体験

日時:平成25年3月31日(日) 午前10時から午後3時
 会場:考古・歴史博物館、歴史博物館南側広場・堀之内貝塚公園
 ※雨天の場合は、考古博物館・歴史博物館内にて縮小開催
 内容:考古・歴史博物館恒例の行事です。国史跡の堀之内貝塚や博物館で火おこし体験などができます。また、地域の人々が気軽に集い、参加できるさまざまな催し物も用意しております。
 <これまでに実施した催し物等>
 縄文食体験(土器によるアサリ汁等)・火おこし体験・拓本体験・韓国衣装体験・模擬店
 紙芝居・餅つき・フリーマーケットなど ※都合により内容変更の場合あり
 参加費:無料(一部定員<先着順>や体験費が必要なものがあります。)
 主催:縄文体験フェスティバル実行委員会(考古博物館・歴史博物館・堀之内自治会ほか)
 問い合わせ:事務局 市立市川考古博物館 担当:領塚正浩
 〒272-0837 市川市堀之内2-26-1 TEL373-2202 / FAX373-2205

平成24年度 市川市児童・生徒学習賞表彰 市川の子どもたちの活躍を称える

2月18日、平成24年度市川市児童・生徒学習賞の表彰式が市川市議会議場で行われました。この賞は学校等の教育活動において、県・関東・全国規模の大会等に参加し、最優秀またはそれに準ずる成績を収めた個人・団体に与えられるものです。34回を迎えた今年度は、個人23件、団体9件が受賞しました。受賞者には大久保博市長から賞状と記念品が授与されました。受賞された皆様、おめでとうございます。【指導課】



平成24年度 学習賞一覧

【個人表彰】敬称略

No	氏名	学校名・学年	表彰件名	表彰順位
1	遠藤 大城	市川小学校 2年	第41回千葉県柔道道場連盟柔道大会	小学2年以下の部 優勝
2	工藤 恭子	若宮小学校 6年	平成24年度千葉県春季水泳競技大会	小A女子 100m平泳ぎ 第1位
3	荻原 美紀	国府台小学校 6年	平成24年度千葉県秋季水泳競技大会	小A女子 200m自由形 第1位
4	大林 茉央	国府台小学校 3年	第12回千葉県小学生空手道選手権大会	小学3年 女子形 優勝
5	武田 真実	行徳小学校 6年	第6回太巻き祭りずしデザインコンテスト	小学生の部 大賞
6	田中 輝乃	南行徳小学校 3年	第11回千葉県少年柔道選手権大会	女子 3年生の部 優勝
7	田中 智陽	南行徳小学校 5年	第11回千葉県少年柔道選手権大会	女子 5年生の部 優勝
8	小池 翔大	中国分小学校 2年	第1回関東少年少女空手道選手権大会	組手 小学2年生男子 優勝
9	宝本 薫	新浜小学校 4年	第41回千葉県柔道道場連盟柔道大会	小学4年の部 優勝
10	小林 真子	新井小学校 2年	第8回「家やまの絵本」コンクール	子どもの部 文部科学大臣奨励賞
11	森本 理矩	塩浜小学校 6年	平成24年度千葉県秋季水泳競技大会	小A男子 100m平泳ぎ 第1位
12	矢島 直幸	日出学園小学校 3年(2年時)	平成23年度全国児童生徒 明るい選挙啓発ポスター	小学校2年の部 財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞
13	安田 智明	日出学園小学校 6年	第37回「みどりの絵コンクール」	毎日新聞社賞
14	櫻本 史温	第四中学校 2年	第66回千葉県中学校総合体育大会	陸上競技 2年100m 第1位
15	太田 敦也	第七中学校 3年	第66回千葉県中学校総合体育大会	柔道男子 81kg級 優勝
16	臼井 実彩	下貝塚中学校 3年	第54回公益社団法人 日本総合書芸院展	学生部 文部科学大臣賞

No	氏名	学校名・学年	表彰件名	表彰順位
17	足助 滯弥	福栄中学校 2年	平成24年度千葉県中学校新人体育大会	男子 50m背泳ぎ 第1位
18	石垣 真衣	大洲中学校 1年	平成24年度小・中・高校生ボールルームダンス・全日本チャンピオンシップ	中学生の部 男女カプルス タンダード部門 3種目総合 優勝
19	藤田 英之	南行徳中学校 3年	第4回田邊杯争奪戦 兼世界選手権大会日本代表選考会	打突競技 グランドチャンピオン戦の部 優勝
20	市丸 貴之	昭和学院中学校 3年	千葉県中学校水泳競技大会	男子 400m自由形 男子 1500m自由形 第1位
21	宇佐見 渚	昭和学院中学校 3年	千葉県中学校水泳競技大会	女子 400m個人メドレー 第1位
22	安西 美由希 近藤 利菜	昭和学院中学校 2・3年	第66回千葉県中学校総合体育大会	ソフトテニス 女子個人の部 第1位
23	永井 亜佳莉 芝崎 百香	昭和学院中学校 2年	平成24年度千葉県中学校新人体育大会	ソフトテニス 女子個人の部 第1位

【団体表彰】敬称略

No	候補団体名	学校名	表彰件名	表彰順位
1	市川市立第七中学校 女子バスケットボール部	第七中学校	第42回関東中学校バスケットボール大会	女子の部 準優勝
2	安達新体操クラブ	福栄中学校	第30回全日本ジュニア新体操選手権大会	女子団体競技 第1位
3	昭和学院中学校 水泳部	昭和学院中学校	千葉県中学校水泳競技大会	女子 総合の部 第1位
4	昭和学院中学校水泳部 女子水泳リレーチーム	昭和学院中学校	千葉県中学校水泳競技大会	女子 400mリレー 女子 400mメドレーリレー 第1位
5	昭和学院中学校 新体操部	昭和学院中学校	第66回千葉県中学校総合体育大会	新体操 団体競技の部 優勝
6	昭和学院中学校 バスケットボール部	昭和学院中学校	第42回関東中学校バスケットボール大会	女子の部 優勝
7	昭和学院中学校 ソフトテニス部	昭和学院中学校	第43回全国中学校ソフトテニス大会	女子 団体の部 準優勝
8	昭和学院中学校 体操競技部	昭和学院中学校	第66回千葉県中学校総合体育大会	体操競技 女子団体総合 優勝
9	市川中学校 応援部	市川中学校	全国中学校ダンスドリル選手権大会2012	団体総合 優勝

自然博物館企画展

平成25年3月2日～12月1日

「いきものの成長」

今回の企画展は、かねてより好評の飼育展示を理科学的な視点で見直し、再構成することにねらいがあります。

生き物の成長様式は、それぞれの分類群ごとに特徴があります。「脱皮して、そのつど大きくなる」や「サナギの中で体を全面的に作り変える」といった現象は、哺乳類であるわたしたちには理解しにくい現象です。親と同じ姿で生まれ少しずつ大きくなるのが人間の「成長」ですが、それはすべての生物に共通するわけではありません。

「おたまじゃくしをすくってきてカエルにする」という体験をすることが困難な時代になりました。身近におたまじゃくしはいませんし、家庭での飼育も条件が整わなくなりました。それならば博物館で飼育し、繰り返し来館していただくことで「いきものの成長」を実感してもらおう、と考えました。



えさに集まるおたまじゃくし

自然博物館は、立地する動植物園とあわせて市内最大の生き物の飼育施設です。かつて野山を駆け回って遊びの中でできた体験を、施設での飼育を見学して体験すればいいのです。どうぞ、今回の企画展を様々にご活用ください。

自然博物館 TEL339-0477

特別支援学級を開設(予定)

市川市教育委員会では、特別支援教育推進に係る環境整備の観点から、全市的な特別支援学級の設置バランス・未設置地域の状況等を考慮した結果、平成25年4月より下記の学校に特別支援学級の開設を予定しています。

〈知的障害学級〉

市川市立北方小学校

所在地：市川市北方町4-1356-1

【義務教育課】

《特別支援教育》障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

(文部科学省HPより抜粋)